たまゆら新聞

14号
2017年(平成29年)
11月20日発行

発行所　株式会社　たまゆら
飯田市北方2688－2
TEL 0265－28－2885
FAX 0265－28－2873
http://www.tamayura.ne.jp/
発行責任者　総務課　塚田　亨
印　　刷　龍共印刷株式会社

☆たまゆら創設15周年記念号
☆15周年祝賀会
☆交流館だより
☆Café たまゆら

社長より

平成十四年秋、建設会社の子会社として立ち上げた「たまゆら設立準備室」で、今は亡き女房が苦労して作り上げた絵が、現在、たまゆらのイメージ画像として使っている「柿」の絵です。

近くの農家から柿の枝をもらってきて、すかし眺めつつ、鉛筆でデッサンを描き、三階の準備室から、一階の私の仕事場へ持ってきては「駄目かなー」と念を押しにきたものです。

何回目かのデッサンにOKを出したら、今度は色付け、悪戦苦闘の末に出来上がったのがこの絵です。

彼女にとっては、二日間の大仕事でした。

デイサービス、ショートステイの土地は、以前は牛の飼料となる、トウモロコシ畑でした。

現在、正面入り口の横にハイエースとエステマが停まっている部分が畑への出入り口でしたが、ここに大きな、樹齢何十年という柿の木が三本、又畑のあちこちにも柿の木が何本かあり、造成工事に着工する時はちょうど実がいっぱい実っている頃でした。

しかし、建築が始まると、柿の木が邪魔になり、仕方なくほとんどの木を切り倒し、一本だけを現在のB棟のトイレの横に移植をしたのですが、古木でもあり、伊賀良建設の技術不足のため、翌年には枯れてしまいました。

現在では、デイサービスの玄関正面に、たまたま残った一本だけが、細々と葉をつけ、実をつけています。

十五周年の記念行事も終え、たまゆらのロゴマーク「柿」の絵の出で立ちを皆さんに紹介いたしました。

松村紘一

株式会社たまゆら15周年記念祝賀会 in シルクホテル

九月十八日(月)敬老の日に、十五周年記念祝賀会がシルクホテルにて開催されました。来賓、職員含め百名余りの参加者の元、盛大に行われました。

松村代表取締役の挨拶では、デイサービス開設当初から今日に至るまでの話、十五年目の抱負、職員への今後の期待を力強く発表されました。

続いて職員代表の挨拶として、たまゆら開設当初からのメンバー三名（嶋岡　由美子さん、今村　陽子さん、東谷　紀子さん）が壇上へ立ちました。

デイサービス開設当初はご利用者様より職員が多かったこと、ご利用者様と一緒にお買い物やドライブに出かけたことなど、開所当初の思い出や今日に至るまでの話を発表されました。

東谷　紀子さん

今村　陽子さん

嶋岡　由美子さん

実行委員企画によるゲームも行われました。豪華?景品を多数用意し、会は盛り上がりを見せました

十五周年記念祝賀会では、夜勤などの勤務の関係で全職員の参加ではありませんでしたが、各施設の職員のほとんどが出席しました。普段の勤務では他施設との職員と顔を合わせる機会が少ないため、他施設の職員同士で一緒に話をしたり、お酒を飲んだりととても賑やかな会となりました。

十五周年と今後の発展を祈願し、各施設の施設長と松田専務による万歳三唱が行われました。

最後に来賓、職員全員で全体写真を撮り、祝賀会は幕を閉じました。

交流会だより

特別養護老人ホーム敷地内に併設された地域交流館では、地域交流の場として会議、コンサートなどの様々なイベントの場として活用されております。また、同施設内の児童館では、地区の子供たちの遊びの場、勉強の場としてのスペースも設けられております。

九月十七日には、〝歌とピアノによるミニコンサート〟（歌：片桐夏樹さん　ピアノ：後藤　光子さん）が開催され、ご利用者様も数名出席され美しいピアノの音色と歌声を熱心に聴かれておりました。次回クリスマスコンサートの開催を予定しております。ぜひご参加ください。

特別養護老人ホーム　地域交流館（飯田市北方３３５４－１）

・交流スペース　使用料…１時間２００円

（※冬季　エアコン使用料として１００円別途かかります）

・児童館　使用料 …… 無料

（※使用の際事前に児童の登録が必要になります。）

お問い合わせは　Café たまゆら TEL0265-48-0732

※H29年９月末のメニューです

地域交流スペース
Café たまゆら

Caféたまゆら
〒395-0151
飯田市北方 3354-1
TEL 0265-48-0732
OPEN　AM10:00
〜
CLOSE　PM 5:30
定休日　なし
（年末年始を除く）

Café たまゆら

特別養護老人ホーム南側に店を構えるＣａｆéたまゆらでは、当店オリジナルのたまゆらブレンドコーヒーをはじめ、紅茶、フロート、ジュースといったメニューを取り揃えております。

筆者取材のため、初めてＣａｆéたまゆらへ伺いました。ブレンドコーヒーに舌鼓を打ちました。香り豊かなコーヒーの香りと、コクのある味わいが普段の仕事の忙しさを忘れさせてくれるようでした。

他に同地域の方がお仲間でいらっしゃっており、お話をされておりました。隠れ家のようなそんなＣａｆéでもあります。

山麓線のふもと果樹園に囲まれ、眼下には飯田の市街地が望む喫茶店です。お一人でもお仲間とでも、ぜひお気軽にお立ち寄りくださいませ。静かでゆったりとした時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。